

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

第3回 幹事会

開催日時

平成29年 9月 29日(金)

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村健康支援課、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①H30年度親子のびのび教室の予算について
- ②相談支援専門員からの活動報告
- ③地域生活支援拠点等事業検討会議の報告
- ④障害者差別解消支援地域協議会の設置にむけた検討について
- ⑤第2回自立支援協議会について
- ⑥その他

会議で話し合われた事

①H30年度親子のびのび教室の予算について

担当者より、H30年度の予算案の報告。

②相談支援専門員からの活動報告

- ・中学校在学中の不登校の生徒や、通信制高校・定時制高校等で在学中につまずいたり、卒業後、就職につながらずに困っているという相談が増えている。また、卒業後引きこもりになりだいたい時間が経ってから相談に繋がってきたケースもあり、介入の糸口が難しいケースも増えている。
- ・今年度放課後等デイサービスの事業所が2ヶ所開所し、利用希望者も増えているが、児童の計画作成ができる事業所が少なく、開拓の必要に迫られており、今後市町村と連携して広げられるとありがたい。
- ・個別のケースで、犯罪につなげない為に、警察の協力を得て社会のルールを話してもらう場を設定。警察の方も大変協力的で、何度も相談に応じてもらえ、地域のチーム支援の広がりにごたえを感じている。
- ・入所や GH 等の利用者の高齢化が進む中で、支援者に手伝ってもらいながらエンディングノートを作成している方もいる。意思決定支援の課題として、今後地域の相談支援専門員でも話し合っていく必要性を感じている。
- ・保育園で取り組んできたセカンドステップを、栄村の小学校1・2年生も対象に実施。保育園で実施した内容を覚えており、気持ちを考えたり表現することがスムーズにできている。継続する大切さを感じている。

③地域生活支援拠点等事業検討会議の報告

北信圏域におけるこれまでの検討経過と現状、今後の方向性等について、月1回開催している検討会議での内容を報告。

④障害者差別解消支援地域協議会の設置にむけた検討について

市町村課題検討WGと権利擁護部会でキャッチボールをしながら検討をしているところ。今後検討された内容を幹事会に諮っていくようにしたい。

⑤第2回自立支援協議会の内容について

- 1.上半期の各部会活動報告
- 2.第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画の中間報告
- 3.地域あんしんコーディネーターの活動報告
- 4.「住みやすい街づくり」をテーマにグループワーク

※9月に開所した就労継続支援A型事業所「アルビスファーム信州なかの」の協議会委員加入の承認を得る。
※当日はアンケートを取り、協議会委員の皆さんから、感想や意見を頂けるようにする。

今後に向けて